

島田療育センターはちおうじを受診した患者さんおよびご家族の方へ

研究課題名：「ADHD における注意のつまずきは Wechsler 検査へどのような影響を及ぼすか」

1. 研究の目的

ADHD のお子さんの得意—不得意を検討する上で WISC 検査は欠かせないものとなっています。しかし実際に WISC をとってみると、WISC では説明できないつまずきが見られ、他の検査による検証が必要となることがあります。特に ADHD のお子さんの場合、注意のつまずき、じっと待つことの難しさ、時間感覚の乏しさが指摘されています。注意のつまずきのみを対象としたストループ課題を実施することで、WISC で見られたつまずき、ひいては日常生活場面ではどんなミスをしやすく、どういう場面では力を発揮しやすいか、支援の手立てにつながることを期待できます。国内の研究では WISC と保護者の方の質問紙で ADHD のお子さんの支援を検討するものが多く、他の検査を組み合わせることで、より ADHD のお子さんの支援につながる認知特性の把握ができることにつながることを考えております。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：2022 年 5 月 1 日から 2024 年 7 月 31 日の間に、当院の外来を受診したお子さんの中で、ADHD の診断を受け、WISC-V に加え新ストループ検査Ⅱを実施したお子さん。
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2025 年 2 月まで
- ③ 研究方法：新ストループ検査Ⅱで大きなつまずきを示したお子さんのグループと、つまずきを示さなかったお子さんのグループの WISC-V の得点を比較します。

3. 研究に用いる情報の種類

WISC-V および新ストループ検査Ⅱの検査結果、年齢、性別、診断名を対象とします。つまずきが見られたお子さんのグループ、つまずきが見られなかったお子さんのグループの平均値、標準偏差が対象となり、お子さん一人ひとりの結果を分析することはなく、個人の情報を分析することはありません。そのため本人が特定されることはなく、個人情報 は保守されます。

4. 情報の公表

研究内容は、学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

社会福祉法人日本心身障害児協会島田療育センターはちおうじ

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、研究結果をお伝えすることもできますので、お申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、2024年8月末日までに下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

社会福祉法人日本心身障害児協会島田療育センターはちおうじリハビリテーション科
公認心理師 佐藤 匠

住所：〒193-0931 東京都八王子市台町 4-33-13

電話：042-634-8439

研究責任者：

社会福祉法人日本心身障害児協会島田療育センターはちおうじリハビリテーション科
公認心理師 佐藤 匠